

多職種と関わりながら仕事を進め、  
チーム医療に貢献する。



**中根あずさ**さん (2001年生まれ)

鶴城丘高校 出身  
慈恵歯科医療ファッション専門学校 卒業

**トヨタ記念病院**

豊田市平和町1-1  
<https://www.toyota-mh.jp/>

なるためには

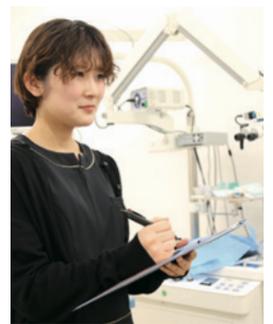
- 必要資格 / 医師事務作業補助者
- 主な進路 / 高校卒業→医療事務コースのある専門学校に進学→医師事務作業補助者などの資格を取得→総合病院に就職

— 学生時代

「高校は環境デザイン系列だったのですが、土木関係の勉強が中心でした。セメントを練って道路を作ったり、木を剪定したりするなどの実習が多かったです。医療の仕事をめざしたのは、私が細菌性髄膜炎という病気がきつかけです。同時に事務職の仕事にも興味をもち、医療事務を志しました」

**「専門時代」について教えてください。**  
「少人数制で一人ひとりに対して手厚い指導を受けられる慈恵歯科医療ファッション専門学校に進学しました。私はわからないことがあっても大人数の中で手を挙げられるタイプではなかったので、先生と生徒の距離が近い環境は魅力的でした。慈恵では、医療事務の業務についてだけでなく、医師事務や調剤事務、介護事務なども幅広く学び、将来の選択肢が広がったと思います。レセプト(診療報酬明細書)や診断書、医療要否意見書などを作成する実践的な授業は現在の仕事でも役立っています。医療秘書コースでは、接し方や言葉づかい、接遇・コミュニケーション力を身につけることができました。在学中に、診療報酬事務能力認定試験、医師事務作業補助者、調剤事務管理士、秘書技能検定などの資格を取得しました」

**— 仕事について**  
「専門学校卒業後、トヨタ記念病院に就職してメディカルアシスタント(医師事務作業補助者)として働



いています。来院された患者様の受付や会計業務などの中で最初と最後に接するのが私たちです。病院の第二「印象を左右し、正に『病院の顔』となって患者様に寄り添う仕事です。現在は、歯科口腔外科、耳鼻いんこう科、脳神経内科、眼科などを担当しています」

**メディカルアシスタントの仕事教えてください。**  
「メディカルアシスタントの仕事は、医師が診察をスムーズにおこなえるよう、問診入力や検査・入院・外来診療、電子カルテや診断書作成など、医師がおこなう事務作業のサポートをしています。この仕事は、患者様の命や健康に関わるもの。適切な医療を患者様が受けられるように、医師の指示通りにミスのないよう正確な仕事を心がけています」

**— やりがい**  
「やりがいは、患者様から直接いただける感謝の言葉ですね。私たち医師事務は、医師や看護師、クラークなど多職種と関わりながら仕事を進めていきます。日々の仕事のなかでチーム医療に貢献できている。ことにも、総合病院ならではのやりがいを感じています」

— メッセージ

「私は慈恵歯科医療ファッション専門学校に進学し、医療事務の中にもいろいろな職業があることを知りました。医師事務作業補助者の道を選んだのも専門学校で幅広い知識を学んだからです。みなさんもういろいろな経験をして、様々な選択肢があることを知ってほしいです。少人数制だったこともあり、クラスメイトともすぐに仲良くなることができました。同じ目標に向かう仲間が近くにいる、まわりが頑張っているから自分も頑張ろうというモチベーションにもなっていました」

ありがとうございます。



自分探検

19歳  
↓  
21歳  
↓  
22歳

慈恵歯科医療ファッション専門学校に進学し、医療事務についての専門知識を学ぶ。

トヨタ記念病院に就職し、メディカルアシスタントとして働きはじめる。

医師が診察をスムーズにおこなえるようにサポートをおこなう。

先輩のインタビューをもっと見た方は、WEBサイトへ！

<http://amb100search.com>



1分1秒を争う現場へ救急車で駆けつけ、  
命の危機に瀕した人を救う。



**山田昌亮**さん(1986年生まれ)  
豊川高校 出身  
愛知学院大学 経営学部卒業

**岡崎市消防本部**

岡崎市朝日町3-4  
<https://www.city.okazaki.lg.jp/1100/1113/1176/syoubou-copy.html>

なるためには

- 必要資格 / 特になし
- 主な進路 / 高校卒業→大学に進学→公務員試験対策講座を受講→消防職員採用試験に合格→消防学校に入校→各消防署に配属→国家資格を取得し、救急救命士として勤務

—学生時代

「幼稚園から水泳を始め、高校生活は水泳漬けの毎日でした。厳しい部活を通して上下関係を学ぶことができず、努力することの大切さを実感しました。その結果、インターハイに出場することができ、リレーで決勝に残れたことが思い出に残っています。高校卒業後は愛知学院大学に進学しました」

—大学時代について教えてください。

「愛知万博でアルバイトをしていたのですが、会場にあった消防署で働く人々を見て憧れをもったことが消防士をめざしたきっかけです。ずっと水泳をやっていたので、体を動かす仕事がしたいという思いもありました。ビジョンが定まっていたから、大学が実施する公務員試験対策講座を受けました。数的推理や判断推理などのテスト対策、面接対策が中心。試験傾向をふまえた対策ができ、試験に臨むうえで心強かったです。受講していなかったから受かっていないと思いますよ笑」

—仕事について

「半年間、消防学校で初任教育を受けます。制服の着こなしや敬礼の角度から、ホースの伸ばし方や放水の仕方、ロープの結び方などまで、消防士としての基礎を学びます。この期間で、社会人としての自覚が芽生えたと思います。消防士の仕事は消火活動のイメージが強いと思いますが、それ以外にも救急・救助・予防などに分かれており、私は現在救急救命士として働いています」



救急救命士として活動するにはどのような経験が必要ですか？

「5年以上または2000時間以上の救急業務を経験し、養成所で半年間の講習を修了すると救急救命士国家試験の受験資格が得られます。養成所では、医学や法律の知識、点滴や胸骨圧迫など応急処置の仕方などを学びました」

現在の仕事を教えてください。

「1分1秒を争う現場へ救急車で駆けつけ、命の危機に瀕した人を救う仕事です。年齢や性別、状態、症状などを聞き、状態が悪化しないよう病院へ運ぶあいだに応急処置をおこないます。現場で大切なのは、焦らずに落ち着いて冷静な判断をすること。この仕事は判断の連続です。緊急時でも冷静に動けるよう、日々の訓練を大事にしています。現場で訓練した以上のことではできませんからね」

—やのがい

「やりがいを感ずるのは、『ありがとう』という感謝の言葉をいただいたときです。それは、火災現場でも救助現場でも変わりません。そのため日々の訓練に励んでいます」

—メッセージ

「今まわりにいる人間関係を大事にしてください。私は今でも水泳部の友達と遊びますし、大学の後輩と釣りに行っています。自由な時間の多い大学生活は、有意義な時間の使い方をしてください。ただ、私は将来の夢をすぐには見つけられませんが、みなさんも焦る必要はありません。まずは、いま目の前にあることを頑張ってください。目標が見つかったときに、それまで努力してきた経験がきつと役に立ちます。私も水泳を頑張った経験が救急の仕事に活用できています」



自分探

18歳  
↓  
22歳  
↓  
37歳

水泳漬けの高校生活。努力することの大切さを学び、インターハイに出場。  
愛知学院大学に進学。夢の実現のため、公務員試験対策講座を受講する。  
救急救命士として勤務。現場で臨機応変な対応ができるよう、日々の訓練に取り組む。

先輩のインタビューをもっと見たい方は、WEBサイトへ！

<http://amb100search.com>



自信をもって何事にも  
挑戦する気持ちを育んでいきたいです。



**伊藤真衣**さん (2000年生まれ)  
光ヶ丘女子高校 出身  
岡崎女子大学 子ども教育学部卒業

**岡崎市立矢作こども園**  
矢作町西河原 49

なるためには

- 必要資格 / 保育士資格、幼稚園教諭免許
- 主な進路 / 高校卒業→養成課程のある大学に進学→保育士資格、幼稚園教諭免許を取得→こども園に就職

— 学生時代

「高校時代は吹奏楽部に入っていて、朝から夜まで部活漬けの日々でした。100人以上の部員がいるなかで、自分の役割を見つけて、与えられた場所で努力することの大切さを学ぶことができたと思います。人前が出る機会も多かったので、メンタルも強くなりました。昔から子どもが好きだったこともあり、岡崎女子大学に進学しました」

**大学時代について教えてください。**  
「座学では、子どもの心理学や発達過程、発達障がいについて学びました。手遊びやピアノ、ペープサートやスケッチブックシアターの制作など、現在も役に立っている学びが多いです。今も大学時代に制作したものを使っていますよ。大学に附属園の子どもたちが来て実施される授業、保育実習やボランティアも多く、子どもと関わる時間が多かったので、社会に出ても自然と子どもたちと関わる事ができました」

**— 仕事について**  
「現在は、矢作こども園で働いています。年少児を担当していますが、集団活動するのが初めての子どもなので、言葉で伝えていくことの難しさを実感しました。並ぶとか、物の貸し借りとか、私が当たり前前に思っていることも、その概念がないので…。言葉で長く説明しても理解できないので、先輩に相談しながら、一緒に動いたり、簡単な言葉で知らせていくことを心がけていました」



**仕事内容を簡単に教えてください。**  
「生活習慣や社会生活のルールを指導し、子どもの成長をサポートすることが私の仕事です。誕生日会や運動会、季節の行事の企画や運営などもおこないます。日々の活動のなかで、試行錯誤しながら、できないことができるようになるまでの過程と一緒に経験することがあります」

**心がけていることは？**  
「楽しく安全に過ごしてもらうことはもちろんですが、幼児期は人格形成にとって大切な時期なので、いろいろなことを経験してほしいです。そして、自信をもって何事にも挑戦する気持ちを育んでいきたいです。豊かな人生になるように導いたり、自主性が身につくようにそっと見守ることを心がけています」

**— やりがい**  
「言葉の発達がつくりの子が、『真衣先生』と名前を呼んでくれたときは感動しました。恥ずかしがり屋の子が、発表会で堂々とセリフを言ったときは鳥肌が…。子どもたちのささいな成長にやりがいを感ずりますし、毎日が成長するきっかけに溢れていることを実感します」

— メッセージ

「認定こども園で保育教諭として働くには、保育士資格と幼稚園教諭免許の両方取得する必要があります。まずは、保育について学べる短大や大学に進学し、専門知識や技術を学ぶことが第一歩です。私はじっくり時間をかけて保育を学びましたので、岡崎女子大学に進学しました。オープンキャンパスに参加して自分に合った学び方を見つけてください。高校時代は、今自分の目の前にあることを全力で頑張ることが大事です。未来の自分にとって後悔のない選択をしてください。ありがとうございます。」



自分探検

- 18歳 吹奏楽部に所属し、部活漬けの日々を送る。
- 22歳 岡崎女子大学に進学。保育士資格、幼稚園教諭免許を取得。
- 23歳 矢作こども園に勤務。日々の活動を通し、子どもと一緒に自身も成長中!

先輩のインタビューをもっと見たい方は、WEBサイトへ!  
<http://amb100search.com>



自分が作ったものや表現したもので  
誰かを喜ばせたい。



**成瀬拓諭** さん(1987年生まれ)

岡崎東高校 出身  
バンタンデザイン研究所 卒業

**MARU SANKAKU SHIKAKU**

岡崎市針崎2-1-5  
www.instagram.com/maru.sankaku.shikaku.omusubi

なるためには

- 必要資格 / 特になし
- 主な進路 / 高校卒業→映像関係の専門学校を卒業→映像業界を経て、飲食業界へ転職→独立しておにぎり専門店をオープン

— 学生時代

「高校時代は野球部に入っていて、部活に打ち込んだ3年間でした。みんなで同じ目標に向かって努力して勝つという経験が楽しかったです。当時は将来のビジョンがなかったもので、とりあえず大学に進学しようという感じでした。もともと映画が好きだったこともあり、大学時代は年間250本くらい映画を観たり、友達と趣味でショートムービーを作ったりしていました。どうせなら映像を本格的に学んでみたいと思い、大学卒業後は、就職せずにバンタンデザイン研究所に入学。専門学校卒業後、関東の映像業界の企業に就職しました。」

— 仕事について

「大変な業界だとはわかっていたのですが、いい人が生き残るわけでもなく、将来のことを考えて結婚を機に29歳のときに転職しました。次に私が選んだのは、『おにぎり専門店』です。映像業界にいたとき、ケータリングで出ていたおにぎりがすごくおいしくて記憶に残っていたんです。悩みましたが、カフェはいっぱいあるし、おにぎりはやっているところがなかったので、『よし、やろう』と。最初は両親の飲食店で働きながら、おにぎりを作ってイベントに出店して名前を広げる活動をしました。4年後に『MARU SANKAKU SHIKAKU』をオープンしました」

「貫して根底にあるのは、自分が

— メッセージ

「飲食店を開きたいけど特に方向性が定まっていない人は、いろいろなジャンルの飲食店で経験を積んだほうがいいですよ。カフェ、フレンチ、イタリアンなど、どんなジャンルの飲食店の経験があってもいいと思います。どんな経験も役に立ちます。私も今の仕事にまったく関係ないように見える過去の経験すべてが、商品開発やディスプレイの仕方などに影響を受けているはずですよ。みなさんも、いろいろなことに挑戦して刺激を受け、それを自分の将来にいかしてください！」

作ったものや表現したもので誰かを喜ばせたいという思いです。それが映像ではなく、今はおにぎりになっただけ。お店のコンセプトは、誰かにあげたくなるような、差し入れをしたくなるようなおにぎりを提供しています」

心がけていることは？

「おにぎりってすごく身近なものですし、人生の経験が詰まったものでもあると感じています。今まで見てきた映画や映像業界にいたときの経験、そこで受けた刺激がおにぎりに詰まっていると思います。そのなかで心がけているのは、『とりあえずやってみる』ということです。考えるより先に行動。だめだったら戻ればいいんです。失敗したところで、自分のことをそんなに誰も見ていませんから」

— やりがい

「おいしかったです！』という言葉や、リピートしてくれるお客さんの存在がやりがいにつながっています。自分が考えて表現したものに、いいリアクションをもらえたら、『もつ、それだけで充分だな』って思うこともありますよ」



自分探し

- 24歳 専門学校を卒業後、映像関係の仕事を経験。
- 29歳 飲食店で働きながら、おにぎり専門店としてイベント出店を重ねる。
- 33歳 誰かにあげたくなるようなおにぎりをコンセプトにし、『MARU SANKAKU SHIKAKU』をオープン。

先輩のインタビューをもっと見た方は、WEBサイトへ！

<http://amb100search.com>



お客様の労働環境を改善し、  
最適な作業環境を整えるお手伝い。



**服部かれん**さん(2000年生まれ)

豊野高校 出身  
人間環境大学 心理学部卒業

**岡崎鋼材工具株式会社**

岡崎市六地藏町1-4  
<https://okazakikouzai.com/>

なるためには

- 必要資格 / 特になし
- 主な進路 / 高校卒業→大学に進学→心理学を学ぶ→鋼材の商社に就職→営業

—学生時代

「高校時代は趣味の2.5次元に熱中していて、舞台をよく見に行っていました。振り返ると、楽しい3年間でしたね。当時は心理に興味があったので、高校卒業後、人間環境大学心理学部に進学しました」

「教育心理 犯罪心理など、幅広く心理学を学びました。印象に残っているのは教育心理です。幼少期の親の育て方が大人になったときの性格に影響することを知り、行動から人の心理を推測できるようになりました。仕事のうえでも、相手は今こうしてほしいんだらうなどと仮説を立てて接するようになり、人間関係が円滑になったと思います」

—仕事について

「大学卒業後、鋼材・工具の販売をおこなう岡崎鋼材工具に就職しました。決め手は「人」でした。説明会の雰囲気、この人たちと働きたいと思ったのがきっかけです。大学で就活の授業があったのですが、離職理由の高い位置に人間関係があったのです。それを見て、仕事内容よりも、一緒に働く人や環境で就職先を決めようと思っていました。仕事内容は入ってから覚えようって(笑)」

「入社当初について教えてください。」

「最初に教わるのは、受注から納品にいたるまでの一連の流れです。営業部からの受注依頼、お客様との電話対応など、最初は覚えることが多くて大変でした。経験と知識がないので、モノとコトが一致せず、何が



わからないのかもわからない状態。鋼材や工具など商品の知識は1から学んでいきました。徐々にお客様の要求や納期、仕入れ先などを頭の中で整理できるようになっていきました。その後、私は営業部に配属されました。わからないことは先輩に聞きながら、お客様の企業を回って経験を積んでいきました」

—仕事内容を簡単に教えてください。

「様々な企業で働く従業員さんの労働環境を改善し、最適な作業環境を整えるお手伝いや保全が私の仕事です。お客様によって困りごとが違うので、工場内が暑いということに悩んでいるお客様には空調設備や遮熱シートを提案するなど、相手のニーズに合った商品や解決策を提案しています」

—やりがい

「労働環境が改善され、働く人の困りごとを解決できたときにやりがいを感じます。省エネの商品を導入したお客様は、効果が目に見えてわかるのでよりそれを実感できます。お客様が別のお客様を紹介してくださるときも、役に立っていることを実感できてうれしいです」

—メッセージ

「やる気さえあれば、誰でも活躍できる業界だと思います。私は大学で学んだ心理学の知識をいかし、相手の性格に合わせた伝え方を意識しています。大切なのは、相手の気持ちに寄り添えるかどうかです。高校時代は、体育祭や文化祭など学校行事を全力で楽しんでほしいです！

多くの人で協力して何かひとつのことを頑張る経験は、社会でも必ず役立ちます。営業もひとりでは動くのではなく、いろいろな人の意見を聞きながら動くことが大事。協調性を身につけておいてください。」

ありがとうございます。



自分探し

- 18歳 趣味や学校行事に取り組み、楽しい高校生活を送る。
- 22歳 人間環境大学では心理学を学ぶ。卒業後、岡崎鋼材工具に就職。
- 23歳 お客様のニーズに合った商品や解決策を提案。

先輩のインタビューをもっと見た方は、WEBサイトへ！

<http://amb100search.com>



道路を支える橋桁を担当し、  
人々の生活を支える。



**近藤弘基**さん(1992年生まれ)

時習館高校 出身  
静岡大学大学院 工学専攻修了

**日本車輛製造株式会社**

名古屋市長田区三本松町1-1  
<https://www.n-sharyo.co.jp/>

なるためには

●必要資格 / 特になし  
●主な進路 / 高校卒業→大学に進学→鉄道車両、建設機械などを製造する企業に就職→研修で製造現場を経験→輸機・インフラ本部に配属

— 学生時代

「ハンドボール部に所属し、部活に熱中した高校生活でした。練習した分だけ、それが成果につながることも実感しました。当時は具体的なビジョンをもっていなかったため、将来の選択肢が広がると思い、理系の道を選択。高校卒業後は、静岡大学工学部に進学しました」

大学時代について教えてください。

「大学院の研究室では、半導体レーザーについて研究をしました。半導体レーザーの出力をプログラムで組んで、光の波形の実験をしました。光通信で応用できるような光の数値帯がないかを調べる研究です。実験はうまくいかないことが多く、最初はエラーになることがほとんど。どこが間違っているのかを考えて、トライアンドエラーの繰り返しです。その姿勢は、社会に出てからも役立つと思っています」

— 仕事について

「橋梁(インフラ)、新幹線や輸送機器、杭打機(建設機械)など、事業の柱がたくさんあるところに魅力を感じ、日本車輛製造に就職しました。最初に工場を回って各部署の仕事を学び、研修後、私は橋桁を作る部門に配属されました」

現在の仕事を教えてください。

「設計から工事現場まで、工事全体の工程管理をしています。工程がスムーズに流れるよう、小さなボルトから大きな鋼板まで、必要な材料が必要なタイミングで漏れなく納入できるように、整理、手配します。私



が担当する橋桁は、道路を支えるメインの部分。ブロックごとに鉄を切断溶接して仮組みし、錆びないように塗装します。それを現場でつなげて道路を作っていきます。道路ができあがっていくと、みなさんの生活を支えられていることを実感できます」

心がけていることは？

「仕事は段取りが8割と先輩から教わりました。事前に図面や情報を精査し、懸念事項などを検討して対策を準備しています。私は設計部や資材部から工事現場まで、すべての部署とやりとりをして仕事を進める立場。意見は違っても、どちらも正しいことを言っていて、部署によって見方が違うだけのことも多いです。意見の食い違いの調整も含め、お互いが納得できるベストな回答を導き出すことを心がけています」

— やりがい

「工場で仮組みしたモノが、実際に現場でカタチになったときにやりがいを感じます。自分の仕事が目で見えてわかるということも達成感につながっています。今後は設計から工事現場まで幅広くもっと専門知識を増やし、大規模な案件に携わってみたいです」

— メッセージ

「高校時代は、将来の不安がたくさんあると思いますが、大学生活も社会人生活も楽しいことがたくさんあります。不安に悩むよりも、今やりたいことに全力で取り組んでほしいです。やりたいことが見つからない人は、まずはそれを見つけているところから。知らない知識を得ることも楽しいですし、新しい経験も自身を成長させてくれると思います。そして、後悔のない選択をしてください！」



自分探し

18歳 部活に熱中した高校時代。高校卒業後、静岡大学に進学。  
24歳 大学院で半導体レーザーについて研究。大学院修了後、日本車輛製造へ。  
31歳 工場含め現場がスムーズに流れるよう、すべての部署と連携して仕事を進める。

先輩のインタビューをもっと見た方は、WEBサイトへ！

<http://amb100search.com>



地域のみなさんの声に耳を傾け、  
地域で生活する人々に寄り添う。



**桑原優樹**さん(1999年生まれ)  
人間環境大学附属岡崎高校 出身  
中部大学 応用生物学部環境生物科学科卒業

**生活協同組合コープあいち**  
名古屋市長区猪高町上社井堀 25-1  
<https://coopaichi.tcoop.or.jp/>

なるためには  
●必要資格 / 準中型自動車運転免許  
●主な進路 / 高校卒業→大学に進学→普通自動車運転免許  
を取得→コープあいちに入協

— 学生時代

「幼稚園のころは、「虫博士になりた  
い!」と思っていて、川で生き物を  
捕まえたりと、外に出て様々な生き  
物とふれあつて遊んでいました。高  
校で理系を選択したのも、漠然とし  
き物関係の仕事に就きたいと思っ  
ていたからです。興味がある分野を  
学べる学部を探し、中部大学の環境  
生物科学科に進学しました」

— 大学時代について教えてください。

「生物や植物を保全するための最適  
な環境づくりについて学んだり、種  
のあり方を細胞レベルから研究し  
たりしていました。生物と環境の仕  
組みだけでなく、発酵や醸造など食  
品関係の知識まで幅広く勉強しま  
した。就職活動の軸にしたのは、生  
物に関わる仕事や種苗や畜産関係  
の仕事。私は大学時代にコープの農  
産部門でアルバイトをしていたこ  
ともあり、農家と組合をつないで橋  
渡しをする仕事にも魅力を感じて  
就職先を選びました」

— 仕事について

「最初の3ヶ月間は、全職員で合同  
の研修があります。宅配業務やコー  
プをお知らせし、組合員の輪を広げ  
る仲間づくりの研修から始まりま  
す。商品をどうおすすめすると魅力  
が伝わるか、商品のよいところは何  
かを考えて話をするようになりま  
した。このときの経験は、水産部門  
で働く今も役に立っています」

— 仕事内容を簡単に教えてください。

「利用される組合員との距離が近  
いので、一緒に地域やお店を盛り

— メッセージ

「もともと私は人見知りだったので  
すが、接客を経験するなかでいろい  
ろな人と話せるようになりました。  
人見知りだからといって接客や営  
業を辞めようとか、選択肢を狭める  
必要はありません。働くなかで克服  
できたり、成長できたりすると思  
います。高校時代は、興味をもったこ  
とはすべて挑戦したほうがいいで  
すよ。学んだ知識は、いつ使うのか  
ではなくてどう使うかが重要です。  
若いうちから何事にも挑戦し、失敗  
も成功も経験して自分の糧にして  
ください」

— ありがとうございます。



「すべての行動に対して意味や理由  
をもたせることです。一つひとつの  
サービスに信念をもち、自信をもっ  
ておすすめできる商品をつくるこ  
と。その思いは、後輩にも伝えてい  
きたいです」

— やりがい

「刺身で食べたい」という組合員に  
は、その場で私が魚をさばいて提供  
することもあります。そのあと、「お  
いしかったです!」という言葉をい  
ただいたときはうれしいですね。  
組合員からのよろこびの声ややり  
がいですし、地域のみなさんの役に  
立っていることを実感できる瞬間  
でもあります」



18歳 生物や環境に興味をもち、中部大学の環境生物科学科に進学。  
22歳 コープあいちに就職。すべての行動に意味をもたせることの大切さを学ぶ。  
24歳 水産部門を担当し、商品の魅力が伝わる売場づくりを心がける。

先輩のインタビューをもっと見た方は、WEBサイトへ!  
<http://amb100search.com>



安城の縁の下の力持ち。  
みなさんの暮らしを支える。



**澤田 俊介** さん(2004年生まれ)  
安城農林高校 出身

**サン・シールド株式会社**  
安城市桜井町城阿原28  
<https://www.sunshield.co.jp/>

なるためには

- 必要資格 / 特になし
- 主な進路 / 高校卒業→都市整備事業や地下開発事業を展開する企業に就職→施工管理

— 学生時代

「木材を加工して椅子やカラーボックスを作ったり、レーザー加工で木材に模様を付けたら、農林高校ならではの授業が楽しかったです。座学では、森林の状況や林業について学びました。土木業に興味をもったのは、測量の授業がきっかけです。オートレベルという機械で水平・高さの確認をしたり、トランシットで角度と距離の計測したり、単純に授業が楽しかったです」

就職先を選んだ決め手は？

「サン・シールドを知ったきっかけは先生の紹介です。推進工事の現場を見学させていただいたのが、元気で笑顔に溢れていたのが印象的でした。土木業界って堅いイメージがあったので、わきあいあいとした現場の雰囲気、いい意味でギャップがありました。ここなら楽しく仕事ができると思い、都市整備事業や地下開発事業を通して地域のインフラを支えるサン・シールドに就職しました」

— 仕事について

「最初は、橋梁補修の現場を担当し、写真管理などを経験しました。工事自体は協力会社の方が進んでいくので、私は日々の作業状況を撮影してまとめたり、危険予知表などの安全書類を作成したり、役所に提出する資料づくりが中心でした」

現在の仕事内容を教えてください。

「一言で言うなら、安城の縁の下の力持ち。みなさんの暮らしを支えることが私たちの仕事です。生活に必



要な上下水道管、ガス管などを地下に穴を掘って通す推進工事、老朽化した道路の舗装や新しい歩道や車道を作る道路工事などが中心です。

入札をして公共工事を受注し、塗装、足場、舗装など様々な協力会社さんと調整をして工事を進めていきます。工事がスムーズに進むように管理することが私の仕事です」

心がけていることは？

「まだまだわからないことがたくさんあるので、過去の資料を見返したり、経験豊富な先輩に相談したりして、わからないことをそのままにしないことを心がけています。常に勉強する姿勢が大切な業界です。もっといろいろな現場を経験して、自身を成長させていきたいです」

— やりがい

「公共工事の場合、自分が作ったもの、修繕したものがかたちに残るので、道路など実際に関わった場所を見ることができるとうれいす。一般の方も利用するものに関わっているの、みなさんの生活に密着した仕事にやりがいを感じます」

— メッセージ

「入社前に必須となる資格は特にありません。現在私は、土木施工管理技師2級を取得するための勉強をしています。資格や専門知識も大事ですが、現場仕事は元気がないと続かないと思います。元気があっていろいろなことにチャレンジできる人であれば活躍できる業界ですよ。高校時代は、何にでも全力で取り組んで、最後までやり遂げる経験をしてほしいです。部活でも勉強でも、趣味でも何でもよいので、熱中できる何かを見つけて充実した高校生生活を送ってください」

ありがとうございます。



- 18歳 測量の授業がきっかけで、土木業界に興味をもつ。
- 19歳 サン・シールドに就職。橋梁補修の現場を経験する。
- 20歳 常に勉強する姿勢を忘れずに、日々の仕事に取り組む。

先輩のインタビューをもっと見たい方は、WEBサイトへ！  
<http://amb100search.com>



幅広い知識や経験を身につけて、後悔のない選択を。



中西竜飛さん(2002年生まれ)

岡崎工科高校 出身

愛三工業株式会社

大府市共和町 1-1-1

<https://www.aisan-ind.co.jp/>

なるためには

- 必要資格 / 特になし
- 主な進路 / 高校卒業→製造関係の企業に学園生として就職  
→製造技術、知識を学ぶ→技能五輪選手として勤務

—学生時代

「高校時代に一番力を入れていたのはバレーボールです。ライバルと切磋琢磨し、最終的にレギュラーを獲得できたときは達成感がありました。努力の大切さを学ぶことができたと思います。工業高校だったこともあり、旋盤やフライス盤などの機械加工、溶接などを学びました。製図の授業もあり、図面の読む力が身につきました」

—仕事について

「高校卒業後、自動車部品の製造をおこなう愛三工業に就職しました。きっかけは先生の紹介です。生産現場で活躍するリーダーを育成することを目的とした「愛三学園」に惹かれたことも決め手のひとつです。私は機械科に所属し、より詳しく旋盤について学びました。実習では、わからないことを指導員に聞いてレポートにまとめ、自分なりに作業しやすい工程や改善点を考えました。高校生までは先生に言われたことをただやるだけでしたが、学園での経験を通し、主体的に考えて行動できるようなったと思います。」

**現在の仕事内容を教えてください。**

「現在は、技能五輪選手として日々の練習に取り組んでいます。技能五輪では、メカトロニクスや機械製図など様々な分野の技能レベルを競うのですが、私の分野は旋盤職種です。会社の代表として出場させてもらっているのが、会社の看板を背負って舞台に立つという責任感もあります」



技能五輪について教えてください。

「3ヶ月前に大会独自の図面(製図)が発表されるので、大会に向けて加工工程や、削る刃の材質や研ぎ方などを試行錯誤しながら準備していきます。評価は、速度と精度、部品の寸法や仕上がりの見た目で評価が決まります。部位ごとに刃を変えて、一番キレイに仕上げられる刃を使用します。当日は50種類ほどの刃を使い、勝負は1000分の1ミリのせめぎ合いです」

技能五輪で得られたものは?

「当日に向けて、発表された図面をもとに試行錯誤しながら準備をするのですが、不具合がたくさん出るので、そのたびに様々な方法で対処する力が身につきました。どんな状況にも対応する力は、職場に出ても役立ちます」

—やりのが

「大会に向けて日々技術を磨き、その成果を発揮できたときはうれしいですね。完成した製成品を提出するときに練習どおりの精度のモノができていると、1年間頑張ってきたよかったなと思います」

—メッセージ

「技能五輪選手になるのに必須となる資格はありません。加工技術よりも、いろいろなことを吸収していく素直な気持ちや、積極的に多くのことを知ろうとする姿勢が大事だと思います。それが自身を成長させていくポイントです。みなさんは今後、就職や進学など、人生において大事な選択をする瞬間があると思います。それまでにいろいろな人に出会い、幅広い知識や経験を身につけておいてください。そして、後悔のないように選択の幅を広げてほしいです」

ありがとうございました。



自分の  
進路

18歳

バレーボールに熱中した高校時代。努力の大切さを学ぶ。

19歳

愛三工業に就職。愛三学園生として、機械加工についてより深く学ぶ。

21歳

技能五輪選手としていい成績を収めるため、日々、旋盤技術を磨く。

先輩のインタビューをもっと見たい方は、WEBサイトへ!

<http://amb100search.com>

